

## 腎臓内科通院中の皆さんへ

「研究：IgA 腎症の糸球体への補体・IgA サブクラス・軽鎖沈着の検討」  
に関する研究についてのご協力をお願い

### [研究の対象]

2015年7月1日から2017年6月30日の間に、当センターおよび奈良県立医科大学附属病院の循環器・腎臓・代謝内科、その関連病院の内科で腎生検を受け、IgA 腎症と診断された患者様。

### [研究の目的]

IgA 腎症は腎炎の中では多い疾患ですが、その原因について詳細は分かっていません。IgA 腎症の糸球体にはIgA の他にC3 という補体が沈着する頻度が高いことからIgA 腎症の発症には補体が関係していると言われています。そこでIgA 腎症患者様の腎生検凍結検体を使って蛍光抗体法を行い、糸球体へどのような補体が沈着するかを調べ、また沈着するIgA と免疫グロブリン軽鎖も種類別に検討して、これらの沈着と各検査・腎生検所見との間に関連性があるかどうかを調べ、IgA 腎症の原因解明に役立てます。

### [研究の方法]

当院では、腎生検の診断を奈良県立医科大学附属病院循環器・腎臓・代謝内科に依頼しておこなっています。当院で採取された腎生検標本およびカルテ情報は、診断のために奈良県立医科大学附属病院にあらかじめ提出されております。本研究ではこれらのカルテ情報（年齢、性別、既往歴、家族歴、現病歴、身長、体重、血圧、血液検査、尿検査値）、及び腎生検時に作成された光顕標本、蛍光抗体法画像を用います。また、追加の蛍光抗体法施行用として残っている凍結切片も使用します。本研究のために追加で採血や腎生検をおこなうことはありません。

### [研究の開示]

本研究は奈良県立医科大学、および奈良県西和医療センターの医の倫理審査委員会で承認され許可を得ておりますが、厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針の規定により、対象となる患者様お一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

### [個人情報の扱い]

患者様のお名前や住所など個人を同定できる情報は使用せず、研究の発表や論文で患者様を特定できないように致します。研究対象から除外してほしいという希望のある場合は下記問い合わせ先までお申し出ください。

### [奈良県西和医療センターの問い合わせ先]

〒636-0802 奈良県生駒郡三郷町三室1丁目14-16 電話：0745-32-0505

奈良県西和医療センター 腎臓内科 孤杉 公啓